

ArcGIS

10.5

ArcGIS Desktop

国内データ変換ツール一覧



内容

概要	2
データ フォーマット別変換ツール一覧.....	3
国土交通省.....	3
国土地理院.....	3
ゼンリン	4
OGC.....	4
その他	5

概要

ArcGIS Desktop 10.5 で提供している国内データ変換ツールをデータ フォーマットごとに一覧でご紹介します。変換ツールの入手方法は、大きく分けて 2 つあります。1 つは、ArcToolbox にある [変換ツール (国内データ)] ツールセットに含まれるジオプロセッシング ツールを利用する方法です。このツールセットは「国内対応パック」をインストールすると利用できるようになります。

2 つめは、Esri 製品 サポート ページからカスタム ツールをダウンロードし、インストールする方法です。製品サポート ページは以下からアクセスできます。

<https://www.esri.com/support/esri/>

各種ツールの詳細な操作説明は、各ツールのヘルプをご参照ください。

データ フォーマット別変換ツール一覧

国土交通省

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
DM/拡張 DM	DM → ジオデータベース/ DM データのチェック	●	
地籍フォーマット 2000	地籍フォーマット 2000 → ジオデータベース/ ジオデータベース → 地籍フォーマット 2000	●	
河川基盤地図/河川環境情報地図/ダム環境情報地図	河川地図データ対応ツール		●
河川基盤地図/河川環境情報地図/ダム環境情報地図 過年度データ (シェープファイル形式) ※1			●
国土数値情報 1/10 細分区画 土地利用データ	数値地図データ変換ツール		●

国土地理院

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
数値地図 10000 (総合)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 500 万 (総合)			●
数値地図 25000 (土地条件) ※2			●
数値地図 5000 (土地利用) ※2			●
数値地図 5m メッシュ (標高)			●
数値地図 250m メッシュ (標高)			●
数値地図 10m メッシュ (火山標高)			●
数値地図 1km メッシュ (標高/平均標高)			●
2m メッシュ標高データ (中越)			●

1m メッシュ標高データ ※3			●
細密数値地図情報 (10m メッシュ土地利用)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 25000 (地図画像)			●
数値地図 50000 (地図画像)	数値地図画像変換ツール		●
数値地図 200000 (地図画像)			●
基盤地図情報 基本項目 ※4	基盤地図情報 (GML)の インポート	●	
基盤地図情報 数値標高モデル ※4		●	
数値地図 (国土基本情報) GML 形式	数値地図 (国土基本情報) (GML) のインポート	●	
数値地図 (国土基本情報 20 万) GML 形式		●	
電子地形図 25000	電子地形図 25000 変換ツール		●
地理院地図	地理院地図 WMTS ※5		

ゼンリン

フォーマット	ツール名	ジオプロセッシング	カスタムツール
Zmap-AREAII (テキストデータ)	Zmap-AREAII 対応ツール		●
Zmap-TOWNII ※6	Zmap-TOWNII 対応ツール		●

OGC

フォーマット	ツール名	ジオプロセッシング	カスタムツール
OGC GML Simple Features	Quick Import	●※7	
OGC Web Feature service(WFS)		●※7	

その他

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
SIMA (測量データ共通フォーマット)	SIMA → ジオデータベース/ ジオデータベース → SIMA	●	
G-XML 2.0	G-XML → ジオデータベース	●	
JMC マップ	数値地図データ変換ツール		●
SXF	SXF → ジオデータベース (SXF Ver.3.0 ~ 3.21) / SXF へエクスポート (SXF Ver. 3.0 のみ)	●	
GEOSPACE CDS	GEOSPACE CDS 対応ツール		●
地図 XML	法務省地図 XML のインポート	●	

※1 国土交通省河川局環境課が[河川環境データベース](#)で公開し、提供しているデータのみに対応しております。

※2 数値地図 25000 (土地条件)、数値地図 5000 (土地利用) は、地理情報標準 (JPGIS) 1.0、2.1 版に準拠した XML 形式で記述されたものに対応しております。

※3 一般に販売されているのは 1km、250m、50m、10m、5m および 2m メッシュ (標高) のデータですが、仕様に沿った 1m のデータもファイルの格納形式を変更することで変換できます (すべてのデータに対応しているわけではありません)。仕様は[こちら](#)をご参照ください。

※4 [基盤地図情報 (GML) のインポート] ツールおよび [数値地図 (国土基本情報) (GML) のインポート] ツールは、基盤地図情報の JPGIS (GML) 2.0、2.1、2014 形式に対応しています。

※5 地理院タイルを WMTS メタデータとして提供しています。「地理院地図対応ツール」は 2016 年 2 月以降更新を行っておりません。詳細は[こちら](#)の FAQ をご参照ください。

※6 Zmap-TOWN II は ZMD フォーマット レベル 1-5 に対応しております。

※7 [Quick Import] は Data Interoperability エクステンションをインストールすると使用できます。Data Interoperability エクステンションは日本国内においてはライセンス販売を行っておりませんが、OGC GML Simple Features のインポート/エクスポート、OGC WFS のインポートに限りライセンス無しでもご利用いただけますので、これら機能限定でサポートいたします。[Quick Import] は [Data Interoperability Tools] ツールセットからアクセスできます。Data Interoperability エクステンションは [ArcGIS Desktop 10.5 の製品ダウンロードページ](#)よりダウンロードいただけます。

ArcGIS 10.5 に関するパッチやサービス パックが随時リリースされる場合があります。不具合などの重要な問題を修正する可能性がありますので、最新の情報については、以下の Web サイトを参照してください。

<https://www.esri.com/support/esri/>

※Esri 製品 サポート ページを参照するにはログインする必要があります。

ArcGIS Desktop 国内データ変換ツール一覧

2017 年 6 月

ESRI ジャパン株式会社

<https://www.esri.com/>

Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず

本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。

